



間伐が行われている杉林

**E委員 (自県ク)** 常総市内の土砂埋め立て現場から環境基準を上回るヒ素が検出されたが、検出状況、経過及び今後の対応は。

**生活環境部長** 十二月までに埋め立て計画の16%が埋め立てられ、その中で三カ所調査したうち一カ所で検出された。現在周囲の広がりを検査している。発生源が特定されれば除去等を指導する。既に埋め立ては中止され、汚染土砂は処分可能な施設で処理されることとなる。

(ほかに、守谷市の工場跡地における有害物質の検出への対応なども質問)

**F委員 (自民)** 東京都では花粉症対策として、間伐を推進しているが、本県でも積極的に行うべきと考える。そのためには財源を確保する必要があるが、森林環境税の導入について伺う。

**知事** 間伐については、花粉症対策としてはもちろん、国土を災害から守るなどのしつ

**H委員 (自県ク)** 食は、自然の恵みや食に関わる方々への感謝の気持ちなど、豊かな人間性をはぐくむ絶好の教材でもあり、食育は、



鹿島鉄道存続に向け署名活動を行う「かしてつ応援団」

りした森林をつくるうえからも、その必要性は十分認識している。森林環境税についても議会と十分に協議していきたい。

(ほかに、イノシシの駆除対策なども質問)

**G委員 (自民)** 鹿島鉄道は、通学の定期利用者の比率が全体の四割と多く、またJRに比べ定期代が高いと聞いている。通学定期の割引により高校生の利用者を増やすことが有効であると考えますがどうか。

**企画部長** 鹿島鉄道対策協議会が事業主体となり、本年四月から一カ月間、通学定期を二割引とする割引実験の実施を考えている。利用者増加につながるよう、沿線の高校など関係機関に強く働きかけたい。

(ほかに、小学生の放課後の居場所づくりなども質問)

**I委員 (自民)** 地方分権下において、執行部と議会が県政運営の両輪として意思疎通を図るため、総合計画や分野別の基本的な計画、県民生活により密着した計画については、議場において議会に報告すべきと考えるがどうか。

**知事** 総合計画の議会への報告について議長と十分に詰めていくとともに、分野別の基本的な計画等についても、今後、報告のあり方を検討していく。

(ほかに、道州制の課題認識なども質問)

知育、徳育、体育の基礎となるものである。学校における食育を今後どのように推進していくのか。

**教育長** 平成十八年度から栄養教諭を配置するほか、新たに心と体をはぐくむ食育推進事業などを展開し、児童生徒に望ましい食習慣の形成を図っていきたい。

(ほかに、養護学校の現状と今後の対応なども質問)



「つくろう料理コンテスト」で一生懸命調理をする小学生

## 百里飛行場活用調査特別委員会

### 「首都圏の北の玄関口」を目指し 調査結果報告骨子案を整理

これまでに五回の委員会、現地調査及び県外調査を実施し、本県の振興・活性化に向けた百里飛行場の利活用の諸方策のあり方について、精力的に調査を進めています。

二月十七日に開催された第四回委員会では、まず、須賀川商工会議所常議員の影山貴司氏から、福島空港を例に、国際化や航空貨物への取り組み、アクセスの確保対策など多面的に話を頂戴し、続いて、(株)日通総合研究所専務取締役の塩畑英成氏からは、百里飛行場における国内貨物輸送や国際貨物チャーター便誘致など航空貨物の可能性と課題について説明を受けました。その後、百里飛行場を生かした地域振興方策のあり方について、企画部、商工労働部、農林水産部から説明聴取を行い、活発に質疑応答が行われました。

三月二十二日に開催された第五回委員会では、第四回に引き続き、知事直轄、生活環境部、保健福祉部、土木部、教育庁及び警察本部から百里飛行場を生かした地域振興方策について説明聴取を行い、続いて、本委員会の調査結果報告の骨子(案)について、協議が行われました。

#### 【調査結果報告骨子(案)】

##### I 百里飛行場の目指すべき姿

「首都圏の北の玄関口」を目指すべきこと。平成二十一年度の開港を目標に、推進体制の強化に取り組



百里飛行場完成イメージ図

むこと。旅客とあわせ、貨物や国際化に取り組むとともに、成田空港や羽田空港等との連携・機能分担を図ることなど。

II 百里飛行場を生かした地域振興方策のあり方

県の情報発信、県内産業の振興、地域づくりに取り組むこと。

III 百里飛行場の整備推進方策のあり方

交通アクセスの充実や地域づくりの拠点となるターミナルビル運営に取り組むことなど。